

【血液内科】

1. 研修指導責任者 藤川 一寿
指導医 藤川 一寿、趙 竜桓

2. 定員 2名まで(2ヶ月間)

3. 基本的目標

担当患者の主担当医として、内科における基本的技術および患者に接する基本的態度を培うと同時に、血液疾患における基本的診療・技術を習得する。

4. 具体的目標

- (1) 血液疾患を中心とした基本的身体診察法を実施し、記載できる。
- (2) 血液疾患を中心とした主要症候(全身倦怠感、リンパ節腫脹、発熱、貧血、肝脾腫、出血傾向)を理解する。
- (3) 一般尿検査、便検査を理解する。
- (4) 血算、白血球分画、血液・生化学検査を理解し、その結果を説明できる。
- (5) 骨髄穿刺、生検、リンパ節生検を理解し、その結果を説明できる。
- (6) 免疫血清学的検査を理解し、その結果を説明できる。
- (7) 腫瘍マーカーを理解し、その結果を説明できる。
- (8) 細菌、ウイルス、真菌学的検査を理解する。
- (9) 単純X線検査を理解する。
- (10) 腹部超音波検査を理解する。
- (11) 基本的治療手技を理解し、施行・管理できる。
- (12) 輸液(高カロリー輸液を含む)理解し、疾患に応じて適切に実施できる。
- (13) 輸血(成分輸血を含む)の適応を理解し、検査結果に基づいて適切に実施できる。
- (14) 薬物療法の基本を理解し、血液、感染症の薬物療法を施行できる。
- (15) 主要症候・検査結果から総合的に血液異常の原因を推定できる。
- (16) 造血幹細胞移植を理解する。

5. 経験した方がよい主要症候・疾患

- (1) 全身倦怠感
- (2) 不眠
- (3) 体重増加・減少

- (4) 浮腫、リンパ節腫脹
- (5) 皮疹、出血斑
- (6) 黄疸
- (7) 発熱
- (8) 動悸
- (9) 嘔気、嘔吐
- (10) 頭痛
- (11) 脾腫
- (12) 貧血：
鉄欠乏性貧血、先天性および後天性溶血性貧血、巨赤芽球性貧血、再生不良性貧血、赤芽球癆
- (13) 造血器腫瘍性疾患：
急性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群
- (14) 出血性疾患・凝固異常：
特発性血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固症候群、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病、フォンビルブランド病

6. 週間スケジュール

火曜日 17:30 カンファレンス

水曜日 10:30 回診

血液疾患勉強会を毎月不定期日に開催